

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月22日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅰ》</p> <p>ア. 都道府県、市町村それぞれに求められる役割に関すること</p> <p>ウ. 協議及び連絡調整を行う事項に関すること</p> <p>エ. 協議が調った事項の実践に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>夜間中学は、様々な事情で義務教育未修了の学齢経過者や本国において義務教育を修了していない外国人等の就学機会の確保に重要な役割を果たしており、現在、本県には夜間中学が神戸市に2校、尼崎市に1校設置されている。</p> <p>しかし、両市（3校）とも市内在住等の入学要件があり、この要件を満たさないものは入学ができない状況にある。</p> <p>本県では、これまで尼崎市、神戸市の入学要件の緩和等について、両市教育委員会と適宜、協議や情報交換等を行ってきた。</p> <p>平成30年には、6月に夜間中学に関するニーズ調査等を行うとともに、7月、12月に県内の夜間中学を設置している尼崎市・神戸市の教育委員会、夜間中学の教員、その他参加を希望する市町教育委員会等による「中学校夜間学級の充実・改善のための意見交換会」を行った。そこでは、夜間中学の必要性等について理解を深めるとともに、電話相談窓口等の広報の在り方や受け入れの広域化及び市町間協定等について、情報交換を行うことができた。</p> <p>2019年度は、「夜間中学の充実・改善のための意見交換会」を引き続き開催するとともに、対象を全市町教育委員会に拡大し、夜間中学の在り方や広域的な受入れについて協議し、自主夜間中学、社会教育施設における識字講座等の実態調査（規模、自治体との連携、活動内容等）により潜在的ニーズを把握する。</p> <p>その結果を、全市町教育委員会が出席する意見交換会で情報を共有するとともに、自治体との自主夜間中学及び識字学級の効果的な連携方法に関する情報についても共有し、各市町における今後の検討材料とする。</p> <p>本県における夜間中学の在り方や既存の夜間中学における受入れの広域化の実現に向け、県や各市町の役割分担等について調査研究を行う。</p>

	<p>他県の夜間中学を既に設置している自治体から入学要件や学校運営の方法、県や市町の役割分担、広報活動等の情報収集を行い、県内の市町教育委員会と情報共有を図る。</p> <p>本県における夜間中学の在り方や既存の夜間中学における、広域的な受け入れモデルの整備、県や各市町の役割分担、潜在的な入学希望者の把握、広報・相談体制の整備等について調査研究を実施することとした。</p>
調査研究の成果	<p>【ア. 都道府県、市町それぞれに求められる役割に関すること】</p> <p>【ウ. 協議及び連絡調整を行う事項に関すること】</p> <p>1 意見交換会</p> <p>「令和元年度夜間中学の充実・改善のための意見交換会（以下、「意見交換会」という。）」を県内全42市町に呼びかけ、7月、1月の2回実施し、設置市による広域的な受入れに向けた具体的な手続きや西播磨地域でのニーズ把握等について協議を行うとともに、県内の就学の機会提供等について情報交換を行った。</p> <p>(1) 〈第1回〉</p> <p>実施日：令和元年7月25日(木) 参加市町：36市町</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地（高知県）の視察報告（夜間中学体験会の実施） ・事前調査票（市町教育委員会調査）結果報告 ・意見交換（設置市による広域的な受入れについて、西播磨地域のニーズ把握、各市町の現状や課題等について） <p>意見交換会の中で、各市町におけるニーズ把握の方法や他市町からの広域的な受入れの事務手続きや時期等について意見が出され、今後研究を進めることとした。</p> <p>(2) 〈第2回〉</p> <p>実施日：令和2年1月31日(金) 参加市町：20市町</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の取組について（令和元年度自主夜間中学、日本語・識字教室等の実態調査、姫路市民生委員による夜間中学に関するアンケート、ひょうご夜間中学電話相談窓口まとめ） ・意見交換（各市町の取組等の現状、広域的な受入れ、県が作成した協定書(案)について 等）

・県提案（広域的な受入れに向けた事務手続き、西播磨地域での体験教室の開催）

・令和2年度文科省予算について

意見交換については、神戸・阪神部会と西播磨部会の2つの部会に分かれて協議を行った。

・第1回目の意見交換会には36市町、第2回目の意見交換会には20市町の参加があり、広域的な受入れの実現や西播磨地域でのニーズ把握、体験会の実施等について意見交換を行うことができた。

・潜在的なニーズを把握するため平成30年12月から県教育委員会事務局内に、専用電話による「ひょうご夜間中学電話相談窓口」を設置している。

・昨年度作成した夜間中学に関する相談窓口のチラシを県内各市町に配布するとともに、義務教育課ホームページにおいて「ひょうご夜間中学電話相談窓口」について広報を行った。窓口に寄せられた相談内容については、県内各市町に情報提供するとともに、意見交換会において情報共有を行っている。

2 先進地訪問

(1) 〈先進地訪問①〉

日 程：令和元年6月3日（月）、4日（火）

訪問先：高知県教育委員会、のいちふれあいセンター 香南市野市町（夜間中学体験教室）

情報収集内容

【高知県教育委員会】

- ・夜間中学の新設に向けての取組
- ・ニーズ調査
- ・夜間中学体験学校の開催
- ・県内の市町村教育委員会との連携

【夜間中学体験教室】

- ・体験教室の概要
- ・体験内容
（学級活動：夜間中についての行政説明、音楽、英語）

(2) 〈先進地訪問②〉

日 程：令和元年7月17日（水）

訪問先：大阪府教育庁市町村教育室

情報収集内容

- ・大阪府の役割
- ・府内夜間学級の状況
- ・府内の広域化について
- ・市町村との定期的な会合等

(3) 〈先進地訪問③〉

日 程：令和元年12月14日（土）

訪問先：徳島大学蔵本キャンパス長井記念ホール
（徳島の学び直しを考える夜間中学シンポジウム）

- ・映画「こんばんはⅡ」視聴
- ・講演 映画「こんばんはⅡ」監督 森康行氏
- ・パネルディスカッション

「学びの多様性とこれからの夜間中」

文部科学省中等教育局初等中等教育企画課 教育制度改革室長

田中 義恭氏

京都教育大学教職キャリア高度化センター 教授 岡田 敏之氏

千葉県松戸市立第一中学校みらい分校 教頭 稲積 賢氏

- ・県立夜間中学校の設置に向けての取組

(4) 〈日本語教室等の訪問〉

県内の日本語教室・識字教室等を訪問し、参加者や運営者に、聞き取りを行い、夜間中学のニーズ把握に努めた。

- ・加古川市国際交流協会 令和元年7月11日（木）
- ・加東市国際交流協会 令和元年7月12日（金）
- ・姫路市文化国際交流財団 令和元年9月19日（木）

【エ. 協議が調った事項の実践に関すること】

広域的な受入れについて設置市である神戸市、尼崎市と継続的に個別協議を実施し、課題整理を行った。

また、西播磨地域の中核市である姫路市と共同で、民生委員による夜間中学のアンケートを実施し、西播磨地域におけるニーズ把握に努めた。